

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【121】
2. 日時：令和4年3月16日 17時00分～18時30分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

名倉安全規制調整官、忠内安全管理調査官、江寄企画調査官、齋藤企画調査官、義崎管理官補佐、植木主任安全審査官、大野主任安全審査官、千明主任安全審査官、服部（正）主任安全審査官、三浦主任安全審査官、藤川安全審査官、岩崎安全審査官、宇田川安全審査官、藤田審査チーム員、谷口技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 部長（電源土木） 他21名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 主任※

電源開発株式会社

原子力技術部 安全総括室 課長※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

・なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい。では資料 2 号機設工認のヒアリング始めたいと思います。ヒアリング内容ですが最初にスケジュールの関係から中国電力から説明をお願いいたします。
0:00:15	中国電力の内藤です。
0:00:19	本、まずは資料確認から 5 枚ついでいただきます。すべて前半後半に分けて、前半で法制の対応状況と説明工程、
0:00:29	後半で論点整理についてご説明しようと考えておりますが、
0:00:33	前半後半併せて資料確認はさせていただきます。
0:00:39	資料については、全部で 6 と町ですが、
0:00:43	裁判させていただこうと考えております。
0:00:47	①としまして N-S2、岡 005 回 03。
0:00:52	②としまして N-S に他 067 回 01。
0:00:57	③としまして N-S に他 071 回 01。
0:01:03	④としまして N-S に他 073。
0:01:08	⑤としまして N-S に他 014 回 01。
0:01:14	⑥としまして N-S に他 003 回 04。
0:01:20	以上ですが、以上で、すべて 3 月 14 日提出のものになりますがおそろいでしょうか。
0:01:27	はい。大丈夫です。
0:01:32	中国電力の内藤です。
0:01:34	それでは、前半の説明としまして資料①④⑤⑥を用いまして、島根 2 号機の補正の対応状況等説明工程についてご説明させていただきます。
0:01:46	初めに資料④の補正の対応状況からご説明いたします。
0:01:52	資料④をお願いいたします。
0:01:58	資料④の表紙をめくっていただいて右肩 1 ページ。
0:02:04	島根 2 号機新規規制基準への指針。
0:02:08	適合性確認に係る経費ですが、
0:02:11	前回、1000 第 1018 回の審査会后以降、平成 21 年 12 月 22 日に第 2 回補正を実施しております。
0:02:22	右肩 2 ページをお願いいたします。
0:02:26	補正の状況になりますが、
0:02:28	第 1 回補正及び第 2 回補正で提出いたしました補正と者数をお示しております。
0:02:36	ここで、耐震ケース耐震性に関する記述説明書のうち、設計上重要な、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:43	施設設備を設置する施設の耐震性に関する説明書と、各施設の耐震計算書に関しましては、第 2 回補正で提出した図書のうち、土木構造物に関連する図書について再補正をさせていただくことを考えておりまして、
0:03:00	再補正が必要な図書数を除いた数をお示しさせていただいております。
0:03:06	また、
0:03:07	当初の構成を精査したことによりまして前回の審査会合でお示した図書数から、各施設の耐震計算書等、強度計算書の母数、
0:03:20	を変更させていただいております。
0:03:23	右肩 3 ページをお願いいたします。
0:03:29	第 3 回補正につきましては、3 月下旬に実施予定でございます。
0:03:34	未提出の耐震強度計算書及び再補正が必要な取水槽等の手法と計算書につきまして、第 4 回補正を 5 月中旬、
0:03:46	第 5 回補正を 7 月、
0:03:48	第 6 回補正を 9 月、
0:03:51	第 7 回補正を、12 月の全 7 回に分割して補正を実施予定でございます。
0:03:59	表中の補正図書数につきましては、括弧内に当該補正会における補正数、その下に前回補正数を含む、図書数を記載しております。
0:04:10	ここで申し訳ございませんがホームページの図書数に訂正がありますのでご説明いたします。
0:04:17	現在、第 3 回補正予定の図書について最終チェックを行っているところですが、耐震計算書の 3 図書について修正が必要ながわかりましたので、
0:04:28	この第 3 回補正の耐震計算書、
0:04:33	その図書数を 3 原資 97 から 94 歳に変更。
0:04:38	第四課補正の耐震計算書の図書数を 3 増資、111 図書から 114 図書に修正させていただきたいと。
0:04:47	考えております。
0:04:51	表中の主な添付書類のうち、設定根拠に関する説明書、
0:04:56	施設個別に要求される説明書
0:05:00	イスイ防護に関する説明書につきましては、どの図書を提出予定か、識別しており、
0:05:07	施設個別に要求される説明書に関しましては、第 4 回補正で廃棄等の基礎、
0:05:14	第 5 回補正で、原子炉格納施設の基礎を提出予定で、
0:05:19	これこれらは、耐震計算書関係の図書となります。
0:05:25	第 4 回補正となっている溢水防護に関する説明書は、SA設備の溢水評価に時間を要しているものになります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:34	右肩 4 ページをお願いいたします。
0:05:39	ここで補正が遅延する主な耐震強度計算書とその理由をお示ししております。
0:05:46	第 4 回補正で提出予定のサプレッション・チェンバの耐震計算書は、地震応答解析モデルの作成に時間を要しているものになります。
0:05:57	第 5 回補正で提出予定の機電設備の耐震強度計算書のうち、土木構造物の床応答を使用しない設備につきましては、
0:06:07	電気計装設備の加振試験やサポート改造を行う、配管系について詳細設計に次は時間を要しているものになります。
0:06:18	また、防波壁等の耐震強度計算書は、改良地盤物性の室内試験による確認及び解析モデルの修正をした上で、
0:06:30	解析を実施する必要があるものになります。
0:06:33	第 6 回補正で提出予定の取水槽の耐震計算書は、改良地盤物性について試験により確認した上で、
0:06:41	液状化を考慮した有効力解析を実施する必要があるものでございます。
0:06:48	犬飼補正で提出予定の記念誌設備の耐震強度計算書につきましては、
0:06:55	土木構造物について修正した解析モデルでの再解析が必要となっており、床応答が変更となることに伴い、
0:07:03	記念設備の再評価を実施する必要があるため、提出が遅延しているものになります。
0:07:11	資料 4 の説明は以上で、続きまして、資料 5、05、
0:07:17	御説明工程。
0:07:19	をお願いいたします。
0:07:26	資料⑤の一番上の主要工程につきましては、第 4 回補正から第 7 回補正までを、
0:07:34	追加させていただいております工程を延長させていただいております。
0:07:39	また、第 5 回補正から第 7 回補正につきましては、上旬、中旬下旬等の時期について未定であることから、木下三角に括弧をつけさせていただいております。
0:07:54	左上に凡例を載せておりますが、各説明項目に対する説明期間としましては、前回の審査会合でお示しました説明期間を、
0:08:05	当初想定としまして、青色の破線、
0:08:10	説明期間の実績を赤色の実線。
0:08:14	説明期間の現状想定を赤色の破線でお示しており、
0:08:19	計画と実績がわかるよう記載をしております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:25	説明期間につきましては、当初想定ではコメント回答が複数にわたるような期間を十分に見積もれていなかったことから、
0:08:33	そ、
0:08:34	審査の
0:08:36	審査の進捗により、
0:08:39	当然変更し、変動するものとは認識しておりますが、
0:08:43	現実的な期間を、
0:08:45	として当社としてしっかり説明させていただきたいと考えた期間を、現状想定として記載させていただいております。
0:08:54	またひし形、
0:08:56	主な説明事項の節、説明可能時期をお示しておりますが、前回審査会合時から10期を変更したのにつきましては、
0:09:07	赤色の、
0:09:08	四方で識別しております。
0:09:12	備考欄にて、主な説明事項を示しておりますが、
0:09:17	後程資料②を用いてご説明いたしますが新たに追加となりました、主な説明事項につきまして、
0:09:25	赤色で示しております説明期間わかるように追記させていただいております。
0:09:37	続きまして資料⑥。
0:09:39	説明可能時期の詳細をご説明いたします。
0:09:50	前回提出のものから変更点を式でお示しております。
0:09:55	⑤の資料と同様、主要工程につきまして、第4回補正から第7回補正を追加しており、
0:10:03	期間を延長しております。
0:10:06	左上の凡例をご覧くださいと、ヒアリング想定期間を破線で示しておりますが、こちらの期間につきましては、当初想定から、現状想定として、期間を変更したのにつきまして、赤色の破線、
0:10:20	D、お示しているものになります。
0:10:24	また、目録番号と証明書のところの色の識別についてですが、第1回第2回補正提出図書を村崎、
0:10:33	第三課補正図書をみどり第四課補正図書青、
0:10:37	第5回補正、
0:10:39	の提出訴訟大きい第6回第7回補正提出図書をオレンジ色で識別しておりますが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:47	例えば一行で複数回補正する場合は最初の補正開の色で示させていただきます。
0:10:58	この詳細スケジュールについてのご説明は割愛いたしますが、先ほどご説明いたしました資料⑤の説明工程、
0:11:08	につきましてはこの設置詳細スケジュール、資料⑥の詳細スケジュールをもとに、縦軸を項目をまとめまして整理したのになります。
0:11:21	続きまして、資料①、
0:11:26	の回答整理表。
0:11:28	をお願いいたします。
0:11:33	資料 01。
0:11:34	回答整理表につきましては、1 ページと 2 ページが、審査会合におけるコメント。
0:11:41	3 ページ以降がヒアリングにおけるコメントになります。
0:11:46	前半の説明につきましては、審査会合におけるコメントまでをご説明させていただこうと考えております。
0:11:55	ナンバー1 ですが、このコメント内容につきましては審査会合時にヒアリングの中で、
0:12:04	御説明。
0:12:05	していくよう、
0:12:08	ええ。
0:12:10	言われたコメント等認識しておりますその内容につきましては、
0:12:16	2022 年 2 月 22 日に回答を行っております。
0:12:22	No.2 以降が、審査会合コメントとして残っているものと認識しております、
0:12:29	ナンバー2 のコメント、今後の設工認の審査にあたっては、本日の指摘も踏まえて、資料を作り込んだ上で臨むこと。
0:12:38	に対する回答としましては、島根サイトの特性、手法、条件等の審査の特徴を踏まえて、審査資料を作成し、説明して参りたいと考えております。
0:12:53	No.3No.4 のコメント内容につきましては、後程、資料 02013 後程説明します資料 0203 に反映した内容で、
0:13:05	ご回答ということになっております。
0:13:11	続きまして、ナンバー5。
0:13:13	コメント内容。
0:13:15	建物の地震応答解析における基礎浮き上がり評価についてのものですが、これにつきましては一部ヒアリングでご説明させていただいておりますが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:26	回答整理表を用いての御解答はしておりませんので、後日回答とさせていただきます。
0:13:36	続きまして、No.6。
0:13:39	コメント内容は、漂流物衝突荷重の評価について、
0:13:43	ものですが、
0:13:44	ナンバー5のコメントと同様、後日回答とさせていただきます。
0:13:52	最後ナンバー7、コメント内容ですが、設工認の審査についてはコメント対応が繰り返し必要となることも踏まえ現実的な工程を示すこと。
0:14:03	また、今回提出したスケジュールをベースとした計画と実績を併記した工程管理表を定期的を示すこと。
0:14:11	に対する回答としましては、先ほど資料⑤を用いてご説明しました通り、説明工程について、コメント対応期間を踏まえた説明期間に修正し、
0:14:23	当初想定と現状想定の
0:14:25	説明期間をわかるよう記載しております。
0:14:29	前半部分のご説明は以上となります。
0:14:33	規制庁のS、
0:14:35	Aでは、規制庁側からコメントある方、お願いします。
0:14:49	あ、規制庁のチギラです。すみません、ちょっと私から、主にですね計画と実績を併記して示すっていう、コメントを
0:15:01	があったと思うんですけどそれに関連してですね、ちょっと確認したいと思います。
0:15:06	資料の方は、④、
0:15:09	の資料です。2ページ。
0:15:14	ここの2ページに示されているのは、ほとんど、
0:15:20	計画通りに進んでるんですけどその中で、計画と実績が違うのが、耐震性に関する説明書の二つ。
0:15:30	になっていますんで、ここがですねちょっと計画と実績っていうのがちょっとわかりにくいんですけど、その辺りは何かこれが、
0:15:39	その違いがわかるようにならないかって言う話とですね、同じく、3ページ。
0:15:47	の方もですね
0:15:51	同じで計画と実績で、代金計算書に関してはですねそのあたり、東條、去年の12月に計画していたものから変わってきていますので、
0:16:03	そこの差分がわかるような説明にならないかなと思うんですけどそのあたりについて、どのようにお考えか説明いただけますか。
0:16:20	中国電力の内藤です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:24	まず②ページ、資料④の右肩 2 ページのところですが、前回から変更となった。
0:16:33	ところにつきましては、設計上重要な設備を設置する施設の耐震性に関する説明書ここが、第 2 回補正まで 16 図書、
0:16:43	補正していたのですがそこが、
0:16:46	再補正が必要ということで、8 年になっていると。その下の耐震計算書が 101 図書だったところにつきまして、99 図書になっているところですが、
0:16:56	あとは母数が変更となっているところなんですけど、そこが
0:17:01	わかるように、
0:17:04	という。
0:17:05	ポイントでしょうか。まず、2 ページについての確認です。はい。規制庁木田です。私前回の資料見て 16 と 101 っていうのは見たんですけどそうですねそれがわかった方が、
0:17:18	いいかなと思うんですけど、それは可能でしょうか。
0:17:25	中国電力の相田です。承知いたしましたそれがわかるように、記載を修正したいと。修正。
0:17:33	検討したいと思います。以上です。
0:17:35	あと、3 ページにつきましては、
0:17:40	A3。
0:17:42	前回は 3 月以降ということで、
0:17:47	当初数を示していたんですけどそれが 3 回から 7 回、
0:17:52	になっているところがあるようにこの表中でわかるような記載を検討したいと思います。以上です。
0:17:58	はい。規制庁日浦です。それで結構かと思しますのでよろしく願います。
0:18:03	それで、同じような話ですね⑤の資料も、計画と実績の話なんですけど、
0:18:11	⑤のA3 縦の資料、
0:18:14	衛藤今回線、点線を引いていただいたところはわかったんですけど、ご説明の中でダイヤのところも、
0:18:28	変更になった、説明の狩野狩野の時期が変更になったものは赤にしましたっていうお話だったんですけど、当初の計画っていうのがいつだったっていうのがですねこっからだと読み取れないので、それもちよつと読み取れるようにしていただくことは可能でしょうか。
0:18:48	中国電力の内藤です。
0:18:50	承知いたしましたそ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:18:53	ダイヤのところの説明会の時期も、前回どうだったかというところわかるような記載を検討したいと思います。以上です。はい。よろしくお願いします。
0:19:04	最後ですけど⑥の治療も同じような話。
0:19:07	です。この⑥、例えば
0:19:14	津波への配慮に関する説明書のところですね、論点の1-9って防波壁っていうのがあるんですけどここで、今回ですね、
0:19:25	2022年の7月以降という形で、変更になってるんですけど、当初の計画、
0:19:33	からどのように変わったのかっていうのはですね、ちょっとわかるようにしていただければと思うんですけどそれは可能でしょうか。
0:19:44	中国電力の内藤です。
0:19:46	⑥の資料につきまして、主な説明事項の説明会の時期が変更したところにつきましては識別するの可能だと考えております。
0:19:57	説明期間につきましては、ここで
0:20:03	当初想定も記載しますとかなり、
0:20:07	見づらくなるかなと思っておりまして、
0:20:10	説明期間だけを、説明期間、失礼いたしました。今の説明事項の説明会の回収可能時期、
0:20:19	方式別、前回はわかるように、
0:20:22	したいと考えますが、
0:20:26	はい、規制庁という、今、内藤さんおっしゃったやり方がいいかと思しますので、それでよろしくお願いします。
0:20:33	中国電力の内藤です。承知いたしました。
0:20:37	私からは以上です。
0:20:42	他にありますでしょうか。
0:20:47	名倉です。
0:20:48	よろしいでしょうか。尾野医師よろしくお願いします。
0:20:53	スケジュールのパワーポイント資料。
0:20:56	これ④の資料でしたっけね。この資料の、
0:21:01	4ページ目なんですけど、
0:21:04	ちょっと⑥の資料との対比で見た時2、
0:21:10	改良地盤物性の室内試験による確認及び解析モデルの修正をした上で解析を実施する必要があるためっていう。
0:21:18	第5回第6回のところに約2これ目立ってるんですが、
0:21:23	それで翌々な⑥の資料を見ると、例えば、
0:21:29	建築の建屋の基礎の耐震性の計算書とか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:33	駅、改良地盤の影響を多分受けたくないような、土木の屋外重土木構造物とかですわね。
0:21:41	そういったものが軒並み遅れているんですけど、それについては、
0:21:46	4 ページの資料パワーポイントの 4 ページのページでは、理由が遅延理由が読めないの、
0:21:54	遅延理由が網羅できるように、左側の主な添付書類のところはちゃんと立て、建築土木の建屋とか、屋外重要土木構造物、
0:22:06	これの計算書が遅れている理由とかも含めてちゃんと説明してもらえませんか。
0:22:22	はい。中国電力のヨシツグでございます。
0:22:25	まず土木につきましてはすいません。
0:22:28	ちょっと、
0:22:30	防波壁等ということで頭の中に入れ込んでおまして、詳しく書いて申し訳ございませんでした。で、この等の中に、屋外重要土木構造物等の遅れているものがございましてこの中には、
0:22:44	衛藤地盤改良以外のところの解析モデルの修正というところで、
0:22:51	有効応力電力の話、取水槽とはちょっと別にですね、モデルの範囲が十分なのかどうかというそういった観点のところの部分で一部モデルを見直しているところがございましてその辺りが、
0:23:03	わかるように、ここについては、明確にわかるような理由を記載させていただきたいと思っております。以上でございます。
0:23:14	経常のナグラです。わかりました防波壁等のところに、屋外 10 土木構造物については、入っていて、それは改良地盤の物性の話だけではなくて、
0:23:27	解析モデル解析手法の修正があったので、それに応じて遅延したと。
0:23:35	ということで理解したんですけどその場合は頭っていうのをちゃんと屋外中土木構造物だっということがわかるように書いた方がいいんじゃないかなと思えました。
0:23:45	それから後、建築の基礎に関しては、
0:23:48	これは計算が遅れたんなら計算が遅れましたっていう、
0:23:53	第 4 回申請でさ、サプレッション・チェンバの耐震計算書が遅れた遅延理由は、
0:23:58	時間を要しているためですわね。
0:24:01	こういった時間を要していて、遅延したものについては、それはちゃんと説明すべきなんではないでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:09	建物構築物の基礎の弾塑性解析についてはこの防波壁等では読めないの で、
0:24:15	これについてはちゃんと計算が遅れているのであれば遅れたという理由を、
0:24:21	ちゃんと遅延理由で述べる必要があるんじゃないでしょうか。
0:24:26	ここはちょっと改善だと思いました。以上です。
0:24:34	中国電力の落合です。建物関係のご指摘理解いたしました少し今、パワーポ イントにはそこら辺がちょっと記載できておりませんでしたので、少し説明の方 を加えさせていただきたいと思います。
0:24:46	減少建物の基礎スラブについては、先日のヒアリングの時に少し
0:24:54	とか米の立ち上げとかですねその辺のことも含めて今検討してますということ で少し触れさせていただいたようなことも含めてですね、計算とかモデル化と かで少し時間を要しておりますので、
0:25:06	そういったことも含めて記載させていただきたいと思います。以上です。
0:25:13	ナグラです。わかりました。
0:25:17	これは事業者の何ていうかな、説明のテクニックかもしれないんだけど、
0:25:25	補正をいつやるのかって話と、コメント回答、新たに解析が生じたものに関し て、これを補正の中に盛り込むのか。
0:25:35	それとも補正とは別に、
0:25:39	申請書上の位置付けも含めて、今後議論するという名目において、ヒアリング もしくは会合の中で説明していくっていう、
0:25:50	もの等、そこら辺はテクニックですけどちゃんと仕分けた方がいいと思います。
0:25:56	こちらからコメントをし指摘事項として、ヒアリングで生じてそれで、事業者とし て、検討が必要になって検討したものを補正に盛り込む。
0:26:09	だから補正が遅れている。
0:26:11	何かちょっと、
0:26:13	そのところは補正は基本的なものをちゃんとそろえて、
0:26:18	試算所に入るか否かっていうことを今後検討しないと位置付けを検討しない といけないものについては、これは、
0:26:24	コメント回答として、提示するとか、ちょっとそこら辺仕分けをちゃんと考えた方 がいいような気もちょっとしました。
0:26:30	落合さんの今の説明を聞いていったの紙を持ったことです。
0:26:34	以上です。
0:26:37	中央電力の内藤です。
0:26:40	当社の現状の考えとしましては、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:46	土木構造物について、コメントたいコメントいただいて、当社として、修正が必要だと。
0:26:54	考えたものを、
0:26:56	につきましては地震、
0:26:58	と経産省から変更となるものを、
0:27:01	でございます、床応答が変更となる。
0:27:05	というものになりますので
0:27:07	ちょっと
0:27:10	修正措置として大きいものだと考えておまして、それらについては、ちょっと第6回補正大中補正、まだ5かぶせも含めておりますが、
0:27:20	再補正させ、1回提出したものは再補正。
0:27:26	今後提出するものはそれを反映したものを補正するということを、
0:27:30	考えております。
0:27:32	審査の中で、そこまで全く説明しないということは考えておりませんが補正という形ではようなふうを考えて、今、第6回段階を、
0:27:42	設定させていただいたところになります。以上です。
0:27:46	はい。今内藤さんが説明して、
0:27:49	くださった。
0:27:51	防波壁とか取水槽で、
0:27:53	これはもう計算をやり直すんだということで、これについては
0:28:00	中国電力の方針とか意気込みとかそういうところはちゃんと理解しているつもりです。私がお話して、ちゃんと工夫した方がいいですよテクニックかもしれませんよと言ったのは、
0:28:13	オチアイさんの説明の中で、基礎、基礎版現象建屋基礎版の
0:28:18	拘束条件に対しての影響評価として、従前のモデル等拘束条件を変えた場合の、解析、これをやってますっていう。で、少し遅れてるんですけどっていう言い方をされたので、
0:28:32	それは基本ケースの内容かどうかっていうことは、これから決まる内容でおそらく基本ケースではないと思うので、
0:28:42	そこまで含めて、計算書、
0:28:45	のところを、差し替えをしますっていうことはよく考えた方がいいですよっていう。すいません。落合さんが説明された内容に対して、
0:28:54	そこはよく考えた方がいいですよっていうふうに部分的に言っただけですので、内藤さんが言ってることについては理解しています。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:06	中国電力の落合です建物に関して基礎スラブの件はまた改めてですねヒアリングの場とかですね今後計算書を説明していく中で、拘束条件とかも含めてご説明させていただきたいと思ってます。
0:29:20	ご指摘は理解いたしました。以上です。
0:29:25	規制庁の江崎ですが、私からはちょっと事実確認を、
0:29:28	3点ほどさせていただきます 1. 名は、
0:29:32	今、ナグラ一調査官の方から話があった。
0:29:36	貿易の頭の中に入ってる僕は重要構造物で、
0:29:39	今中国電力の方から、この
0:29:43	遅延理由としてはモデル化領域を修正しているっていう話があるんですが、
0:29:49	私どもの市の審査の中ではモデル化領域の話っていう話は今まで議論、
0:29:55	された記憶がなくて、
0:29:57	なぜゆえに、モデル化領域を変える必要があったのかってのちょっと、
0:30:01	事実関係を、
0:30:03	を教えてくださいませんか。
0:30:09	はい。中国電力のヨシツグでございます。こちらにつきましては
0:30:14	衛藤コメントを受けたというの、直接受けたとそういったようなものではございません。当社としてですね、
0:30:22	今後地下水位の設定、あとは、実際に解析モデルとしてですね、隣接構造物等があるんですけどもそれが十分なモデル化の範囲になっているかと。
0:30:33	そういった観点のところを、
0:30:35	当社としてもう一度見直しましてそういったところで、必要なモデル化修正があるという判断をいたしまして、こういった記載をさせていただいております。以上でございます。
0:30:46	わかりましたそういった理由もですねちょっと明確にさせていただいて、当初、どう考えていて、今どういう状況で
0:30:54	是正する必要があったのかっていうその考え方、
0:30:58	基本的な考え方ありますよね。多分、解析その制度の話で、多分今の話だと、当初の予定を所、条件設定があまり適切でなかったためにそこを見直したっていうことだと思うんですが、
0:31:11	自主的に、そういうことだと思うんでそういうことであればそれをしっかり、しっかり書いていただきたいと思います。
0:31:18	それとですね。
0:31:20	同じその防波壁の欄の段階で、
0:31:23	その遅延理由のところ、これ防波壁の話を書いているのかもしれませんが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:27	いわゆる解析を実施するため、する必要があるためっていうセンテンスなんですけど、1 個下の 9 月に申請していく取水槽の方は有効解析ってあきれ返っ回転ですね。
0:31:41	ここで言うコール解析。
0:31:43	土肥さんは書いていて、宇和解析で止めてる、簡略化して書いてるっていうのは理由があるんでしょうか。
0:31:55	はい。中国電力のヨシツグでございます。
0:31:58	第 6 回の補正の取水槽につきましては、今、全応力解析による地震応答計算書をご提出さしていただいております。
0:32:08	で、ここにつきましては当社として埋戻し動の広く分布しているということも考えまして有効力解析が必要と判断いたしましたしてその部分を抜き出してちょっと記載をさせていただきます。耐震計算書についてはそれら両方を踏まえたものとして、
0:32:26	厳しいものとして、基本ケースを決めて、出すということで、少し徳田して有効力解析というのを記載をさせていただきました。で、
0:32:36	当第 5 回の方のものにつきましては防波壁以外の付言等というところで少し読みにくくしておりましたので、そこがありまして解析という言葉でちょっと統一をさせていただいたという違いがございます。以上でございます。
0:32:51	わかりました。ここで解析ということでここに有効力前後力、
0:32:57	使い分けの話が、この中でそういう遅延、
0:33:03	要因として、理由として、
0:33:05	ないということで理解しましたけどそれでよろしかったですね。
0:33:11	はい。中国電力のヨシツグでございます。ご理解の通りでございます。
0:33:15	了解しました。
0:33:17	それですねもう 3 点目っていうのがもう、
0:33:21	いわゆる⑤の、
0:33:24	このスケジュール表を見ると確かに棒が併記の、
0:33:30	7 月補正っていうのは読み取れるんですが、取水槽の 9 月補正っていうのはちょっとどこで読み取ったらいいのかっていうのを教えてください。
0:33:40	⑤の、
0:33:43	スケジュールの中で、
0:33:58	すいません中国電力のヨシツグでございます少々お待ちください。
0:34:21	はい。中国電力のヨシツグでございますお待たせいたしました。
0:34:25	⑤の資料の、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:28	下の方に耐震性に関する説明書というのが真ん中からちょっと下のところにあると思います。その2ポツのところに、
0:34:37	耐震設計上重要な設備を設置する施設の耐震性というものがございます。
0:34:44	この2ポツの中に、江藤あいておまして、その下のポツに書いてありますのは論点として挙がっているものだけポツで、地震を統計、建物構築物の地元解析と、
0:34:56	いうふうに書いてあるんですが取水槽につきましては、論点に挙がってなかったということでこの2、
0:35:01	乙の耐震設計上重要な設備を、
0:35:05	設置する施設の耐震性という中に入っていると。
0:35:08	いうものでございます。以上でございます。説明はわかったんですけど、資料は整合しないので、やはりその辺はですね元のものがどうであったかということと、
0:35:19	取水槽以外の方と水素送れないものと遅れるものとか、あしぎんと話し合っただんですけど、そういったものも含めて全部まぜてしまって、説明されていて、しかもその、
0:35:32	補正の1のその記号かなんかも書いてないわけですから、ちょっとこれは不完全だったか⑥の資料を見れば出てるのは、わかっていますが、多分この説明のし、この資料を
0:35:45	使う意味があるのかどうかということも含めてですね、ちゃんと
0:35:51	ちゃんと説明の整合は合わせていただきたいと思うんですがいかがでしょうか。
0:36:00	はい。中国電力のヨシツグでございます。はい。今江崎さんがおっしゃられたように
0:36:04	衛藤。
0:36:06	パワーポイントの方で、その資料、
0:36:09	第6回の補正の主な理由として取水槽を挙げておりますので、⑤の資料につきましても、
0:36:15	一行追加をし取水槽の耐震計算書がわかるように、資料を見直させていただきたいと思います。以上でございます。
0:36:28	すいません。規制庁のタダウチでございますが、
0:36:32	ちょっとすいません今までの話を聞いててちょっと思ったんですけども、
0:36:40	どれだ、04と言ってるパワーポイントの資料の、
0:36:45	4ページ目の話なんですけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:50	ここで書いてあるのっていうのはどっちかちゅうと添付書類を出せるタイミングを、何か言ってるだけにすぎなくて、
0:37:00	その遅延するような話がわかるようなようになってるのかちょっとあんまりなっていないような気がするんですね、提出時期はこの時期ですよこれがねっていうのはこれでわかるんだけどもそもその遅延理由として、例えばですね、一番上なんかは時間に要しているためっていう話と、
0:37:19	真ん中ぐらいなものについては何とかの必要があるためって話になってると思うんですよ。そうすると、もともと予定されてたものが時間かかって非引き延ばしんが延びちゃってるっていうものと、
0:37:35	そもそも新たに対応が必要となったものっていうニチレイが本来あると思っっているんですよ。そういったもので言えばその二つにちゃんと区別がつくようにしてもらいたいっていうのと、
0:37:48	新たにし対応が必要となったものについては、何で必要になったかっていうところも、説明の中に加えてもらいたいと。そうすると我々としては、当初の予定から、
0:37:59	どうしてこれがこういうふうに回数も増えて遅延をするんだらうというところがよくわかり、今後の、
0:38:06	御社ですね、対応っていうのがどういう動きになるかっていうところも、何となくわかるといったようなことかと思しますのでそこんところがちょっとわかるような形での、
0:38:16	資料構成にさせていただきたいと言うのが一つ。
0:38:19	もう一つ、先ほどからちょっと 0607 の話と④の話がかみ合わないっていう話があるんですけど、いやそもそもここら辺は、
0:38:29	スケジュールの話で遅延の話が出てそれで線引き文でこう変えましたっていうんであれば、先ほど江崎の方も言ったんですけども、何かマーキングするなり何なりでわかるような形で対比するような形でないと、
0:38:43	いやこれ後でまたこれもあれもう追加ですなんていう話があると。
0:38:47	もうちょっと手に負えないような状況にはなってくるので少なくとも現状わかってる範囲で、そこら辺がちゃんとわかるような資料構成にさせていただきたいというところをお願いします。以上です。
0:39:02	中国電力の内藤です。
0:39:05	承知いたしました。もともと、資料④の 4 ページにつきましてはもともと予定されている。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:39:12	ものが遅延したものと、あと新たに対応が必要となったものについてはちょっとわかるような規制を検討したいと思います。で、新たに必要な対応が必要となったものにつきましては、
0:39:23	まず何で必要だったかというところも示したいと思います。
0:39:27	T0506、
0:39:29	四、五と④の対応がちょっとわかりづらいというところは、確かあったかと思えますので、その対応がちょっとわかるような記載を検討したいと思います。以上です。
0:39:43	はい、ほかに規制庁側からありますでしょうか。
0:39:55	規制庁植木です。
0:39:57	今④の資料の4ページ。
0:40:04	なんですけど、ちょっと1点、技術事実確認なんですけど、上から二つ目のですね、既存設備の耐震／強度計算書、
0:40:18	というのがあってこれで強度計算書、
0:40:23	まず、これって
0:40:27	何で遅れるかっていうと、あれなんですかね、右側の、そのサポートの構造を置くな配管系。
0:40:37	これ影響を受けて、強度計算書の主強度計算書って、何か耐震の条件って使うんですけど、耐震とかサポートの解除の影響を受けるってことなんですか。
0:40:56	中国電力の内藤です。
0:40:58	こちら強度計算書につきましては概ね間の応力計算書になりまして耐震評価で出た応力を、
0:41:09	を用いての評価、強度評価というところの内容になります。以上です。
0:41:15	規制庁池です。わかりました。
0:41:18	菅の図書構成としてそのまま応力計算書の中で、耐震評価をやるやつがあるということですね。
0:41:29	わかりました。あと一番下はもう同様です。
0:41:35	共同研究電力ナイトウ月。
0:41:37	はい。4ページの一番下も同様に感能力計算書になります。以上です。
0:41:42	規制庁大城です。はい、了解しました。以上です。
0:41:48	A市長のS、他にございますでしょうか。
0:41:54	名倉です。すみませんちょっと資料の位置付け聞き忘れたんですけど④の資料は会合資料ってことで理解できるんですけど。
0:42:01	⑤の資料はどちらなんですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:05	中国電力の内藤です。
0:42:08	④と⑤を審査会合の資料と考えております。以上です。
0:42:14	名倉です。わかりました。以前にも確か⑤の資料っていうのは、介護で出ていて、その差分は介護で示すということで理解しましたありがとうございました。以上です。
0:42:27	規制庁です。ほかによろしい。はい。
0:42:38	規制庁のハツリです 1 点確認させてください。あと⑤の資料です。
0:42:44	この菱形については、
0:42:47	主な説明事項の説明化の時期ということだと思っんですけれども、
0:42:52	この菱形については、
0:42:55	先ほどの説明だ等、
0:42:58	許可からの申し送り事項。
0:43:02	について、大きな論点として、
0:43:05	主な説明事項。
0:43:07	ということでここに記載をされてるんでしょうかそれとも、
0:43:11	設工認に、
0:43:13	当たって主に説明すべき事項として、
0:43:18	ここに書いてるんでしょうかどちらなんんでしょうかどうぞ。
0:43:23	中国電力の内藤です。
0:43:26	後者になりまして、設工認の中で主に説明する事項を挙げておりますんで、備考欄で、1 の一番上が 1-10、
0:43:39	下の方には 3-4 と。
0:43:41	等を記載しておりますが、一井のというシリーズが、
0:43:48	申し送り事項に関するもので、2 がバックバックフィットに関するもの、3 が設置許可からの変更点に関するもの、4 がその他、
0:44:01	当社として、説明が必要だと考えているもの。
0:44:06	になります。以上です。
0:44:10	規制庁のハツリですはい。わかりました。
0:44:12	先ほど来 4 の資料とこの資料の関連性がという話が少しあったときに、
0:44:18	今の
0:44:21	今までの間、事実確認において反映する。
0:44:26	内容として、
0:44:28	例えば今回第 6 回位の補正がなされた後に、
0:44:33	主な説明事項が一
0:44:36	内の

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:38	なぜ第 6 回位が一第 6 回を
0:44:43	この補正がなされた後に何を主に説明するのかっていうのがちょっと見当たらずで、こんなことを聞いています。
0:44:51	ということで、
0:44:53	それらは先ほどの、
0:44:56	これまでの間、事実確認の中で、
0:44:59	いろいろ確認したものを反映すれば、
0:45:02	第 6 回の補正によって何が主に説明されるかっていうのはこの⑤の中で明確になるということで理解してよろしいでしょうかどうぞ。
0:45:15	中国電力の内藤です。
0:45:17	はい。先ほど取水像について⑤の資料に位置を追加するというお話させていただきましたが、そこで、
0:45:27	取水槽については、その第 6 回、
0:45:30	以降で詳細説明するところ、
0:45:35	現状の説明事項としてなっておりませんが、当社としては取水槽も論点として考えているものになります以上です。
0:45:44	規制庁の服部ですはい。わかりました。私からは以上です。
0:45:50	はい。規制庁那須他にありますでしょうか。
0:45:59	よろしいですか。
0:46:00	はい。
0:46:03	規制庁側からは、これでコメント出尽くしました。このスケジュールに関して中国電力の方から何か他に言っておくことありますか。
0:46:24	中国電力の内藤です。こちらは特にございません。はい、わかりました。
0:46:29	では、この議題は、ちょっと待って。はい。
0:46:34	すいませんちょっと今気がついたんですけど、いいですか。はいどうぞ。
0:46:40	以前会合で説明をした、何て言うのかな。
0:46:45	いろんなその論点に関して、
0:46:53	方針とか方法を念頭に説明をして結果については後から出てくるものがありますよっていうのを 1 回各説明主要説明項目に対して、
0:47:05	整理してもらったんですけど今回遅れることによって、
0:47:10	そのあの表自体が中身修正になっていると思うんですけどそれについては、何か、
0:47:16	大きな影響が、今回の遅れによって何か大きな影響を受けるんでしょうか、説明の工程に対して、
0:47:33	中国電力の内藤です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:37	今回も②の資料で
0:47:40	主な説明事項の論点整理という形で
0:47:45	プラント関係になりますがお出しさせていただいております。で、その他
0:47:51	丸野市の 22 から 20 ページと、
0:47:55	いうところで、全科審査会合でお示した主な説明事項ありまして、
0:48:02	1-1 から始まっておりますがその番号に対応するのが⑤の資料。
0:48:09	の備考欄になります。そこで
0:48:12	等主な説明事項の説明時期が、今回ダイヤで示しているところが赤字になっているところは前回審査会合からお示した例を示した。
0:48:23	説明、これ以降で説明するというのが変更になるという、
0:48:27	ところになります。以上です。
0:48:33	わかりました。ということは
0:48:37	以前、
0:48:40	介護で説明していただいた内容が実際の説明工程の遅れとして、資料上説明されるのは⑤の資料で、
0:48:50	これで、この間の 1 回目に説明した内容との差分は説明可能だという、そういう見解で理解しましたがそれでよろしいですね。
0:49:01	中国電力の内藤です。
0:49:04	はい先ほど、オオノ説明事項の説明、説明会の時期のダイヤのところ、赤、赤で示しているところについては、前回審査会合で示した時期を、
0:49:17	しめ枢要なコメントをいただいております。そのようにすれば、前回から今回開けてどのぐらい遅れたものがあるかというところが、ご説明可能と考えております。以上です。
0:49:33	わかりました。一応、資料上は対比できるということで、理解しました。
0:49:40	以上です。
0:49:44	はい、規制庁です。では他に、ないですね。
0:49:49	はい。では本件については、ヒアリング、一旦としたいと思います。では、議題がありますので一度休憩を入れて 10 分後の 18 時 5 分から再開したいと思います。
0:50:07	では録音、
0:50:09	では一旦休憩に入りたいと思います。
0:50:13	規制庁のです。ではヒアリング再開したいと思います。
0:50:18	では裁判の 2 番からですかね、中央電力の説明をお願いします。
0:50:32	中国電力の古田です。ヒアリングの指摘事項の回答について資料番号 1 及び資料番号 3 を用いてご説明させていただきます。よろしく申し上げます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:49	中国電力の内藤です。ちょっと補足ですが、回答整理表、
0:50:54	ヒアリングコメン等での回答になりますので機械等整理表①のものを
0:51:01	ベースで説明させていただいて、002と③両方反映箇所がありますので、ステ ーキ②③を用いて説明させていただきたいと考えております。
0:51:13	ご説明させていただきます。
0:51:17	中国電力の古田です。失礼しました。では説明に移らせていただきます。
0:51:23	まず資料番号①のページ番号5ページをよろしく申し上げます。
0:51:35	まず計測装置に関する指摘事項に対する回答としてナンバー23 ナンバー24 についてご説明させていただきます。
0:51:45	格納容器酸素濃度、水素濃度の計測範囲変更後の各運転状態における改正 について、
0:51:52	重大事故等時における水素濃度の監視について、酸素濃度の記載内容を踏 まえて説明を住所充足すること、また、重大事故時における水素濃度の可燃 領域、
0:52:04	爆轟領域の監視がワイドレンジ監視となっていたのは変更前のみであることを 明確することについて、補足説明資料に反映いたしました。
0:52:13	資料番号③の通し105ページをお願いいたします。
0:52:39	大変恐縮ですが、黄色ハッチング部分の考慮の感じ動きがあり、お詫び申し 上げます。
0:52:46	では内容に移らせていただきます。
0:52:49	重大事故時における水素濃度監視の文章、重大事故等時における水素濃度 操作等の判断基準ではないことから、
0:52:58	考慮すべき経費誤差の基準値等は存在しないが、簡易性向上の観点から、 可能な限り、計器誤差を縮小することが望ましく、変更後のナローレンジ0か ら254%によるドライ口座、
0:53:11	プラマイ0.5ボリューム%、
0:53:13	出野菅氏は、変更前の分のワイドレンジ0から100ボリュームパーセントによ るドライ誤差、プラマイ2.5ボリュームパーセントでの監視より、
0:53:22	計器誤差が縮小するため関西に影響がないと、酸素濃度側で議論している運 転に考慮している、経理誤差の基準値に関する文章を補足しました。
0:53:34	また、注記2については、変更前における等切替設定値は3ボリュームパー セントであるため、事故初期の水素濃度上昇以降、可燃領域4ボーリング% 及び爆轟領域、Q3ボーリングパーセンタ。
0:53:49	ワイドレンジ0から154%による監視であったとかを形にすることで、変更前 のみがバンドルレンジ監視であったことを明確化しました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:58	計測装置に関する指摘事項に対する回答については以上となります。
0:54:05	中国電力の長嶋です。続きまして①の資料の 5 ページ。
0:54:11	ナンバー25 から、非常用ガス処理系の吸込口の変更の影響。
0:54:17	についてご指摘いただいた。
0:54:19	内容について回答いたします。まずナンバー25 ですが、差圧計の位置を説明することというご指摘について、
0:54:27	③の資料の通しのページで 74 ページ、お願いします。
0:54:36	こちらの上側に、図 2 として図を追加しておりますけども、差圧計の検出点を、
0:54:43	各配置を赤い点で示しております。
0:54:48	続いて、①の資料戻りましてナンバー26、
0:54:53	のご指摘で排気ダクト、
0:54:56	流路面積とトラス室上部ハッチの開口面積について、
0:55:00	関係を示すことという、
0:55:02	失礼しました。
0:55:04	冒頭ご指摘ですけども丸さんの資料に戻りまして、
0:55:09	本ページ 77 ページ。
0:55:11	です。
0:55:16	こちらの図 5 の方ですね、原子炉建物原子炉棟 1 階の配置図ですけども、こちらに各
0:55:23	当初もともと接続していた原子炉棟空調関係の配備額と、
0:55:27	後、
0:55:28	新しい地下階から 1 階への貫通箇所、
0:55:32	凹地位置を示しまして、
0:55:35	私のこの記載で各それぞれの開口、
0:55:39	面積について記載を追記しております。
0:55:44	続いて①の資料のナンバー27。
0:55:47	のご指摘ですけども、
0:55:51	実機における%達成時間について変更前後の測定データを用いて説明することというご指摘について、
0:55:58	丸さんの資料の
0:56:00	通しページ 78 ページをお願いします。
0:56:08	こちらのページの図 7 で吸込口変更前の圧力変動グラフと変更後の変動グラフ。
0:56:14	を示しております。注記でちょっと記載はしておりますけども、非原子炉棟空調関係停止から、非常用ガス処理系の起動までの操作時間が異なりますので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:26	圧力の挙動の多少の相違はありますけども、
0:56:30	エンドウ警告については同様ですので、
0:56:33	追加道の変更による影響はないと判断しております。
0:56:38	続いて、①の資料のナンバー28。
0:56:43	のご指摘です。
0:56:45	重大事故時におけるトラス雰囲気の発注経由した場合のトラス室以外の環境度について説明することということでこちら、前回のヒアリングの
0:56:55	時にご回答させていただきますでしたけども、
0:56:59	③の資料の、
0:57:00	次ページで、
0:57:02	7、73 ページですね、に記載を追記はしておりますけども、
0:57:08	注記の記載、ノウハウの箇所になりますけども、重大事故等時の温度については、6-1-1-7 の、
0:57:16	安全設備及び重大事故等対設備が使用される。
0:57:19	条件のもとにおける健全性に関する説明書、
0:57:22	の方で説明いたしますのでその旨を記載追記しております。
0:57:27	非常用ガス処理系の追加のうちの変更に関するご指摘事項への回答は以上です。
0:57:34	中国電力の藤本です。続きまして徒歩カーン、第4回の変更について説明をさせていただきます。①の資料の6ページ目お願いいたします。
0:57:46	No.の30を、第4保管エリア出入口部の表現について検討すること。こちら資料②の論点整理のパワーポイント資料の18ページ目のほうで説明させていただきます。
0:58:02	回答としましてまず、凡例の方に出入口を①と②の方に分けております。
0:58:10	②の方に注記、※1の方を追加しまして、地震後の状況を踏まえ、通行が可能であれば、使用する出入口と表現を、
0:58:21	追加し、出口の表現、識別をしております。
0:58:25	途中の方も、ピンク色の矢印を追加して、拡張部がアクセスルートと接続する箇所は、出入口②として、識別をしています。
0:58:35	コメントガイドについては以上になります、パワーポイント矢羽根一つ目と表現一部修正してまして、
0:58:42	矢羽根一つ目の2行目の末尾に当該拡張部というものがあありますが、修正前は、もっと後のところでもう一度繰り返して証言していましたので、
0:58:52	削除し表現を修正しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:58	中国電力の内藤です。引き続き、②の資料の前回からの変更点についてご説明させていただきます。
0:59:06	前、1 ページをお願いいたします。前は、
0:59:13	ここで 2-1 で皮膚対策がありました。皮膚対策については、
0:59:18	このページで削除してそれ以降のページでもひい対策あったところを削除させていただきます。あと、申し訳ございません 1 ページのところ 3-1。
0:59:30	ドライウェル水位計設置高さの変更、ここ記載が残っておりますが、これ以降のページのところは 3-1 の内容は削除しております。1 ページにつきましては 3-1。
0:59:41	この記載を削除させていただきたいと考えております。
0:59:46	公聴会の説明は以上となります。
0:59:50	規制庁郷です。では、規制庁側から、コメント。
0:59:57	ありますでしょうか。
1:00:01	規制庁のヨシザキです。
1:00:04	半田丸。
1:00:05	丸さんの資料の 74 ページ。
1:00:10	差圧計の場所を図 2 で追加してもらったんですけども、これはエレベーションというかその何段階なのかというのは、リアクタービルの 4 階でしょうか。
1:00:24	中国電力の福間です。エレベーションにつきましては、
1:00:29	オペフロにリアクタービルのオペフロになります。
1:00:34	4 階です。4 階になります。計器のですね検出点の記載については、凡例で記載しておりますけども約 45 メートルのところに検出点を設けております。以上です。
1:00:47	規制庁のヨシツグです 74 ページの図 2 のところに、77 ページみたいに図 4 は原子炉建物原子炉棟 2 階と書いてあるんで、
1:00:58	ちょっと表現の階数はしてもらいたいのと、エレベーションは少し図 6 ですかね。78 ページのところ、
1:01:08	マスキングかわかんないんですけどエレベーションがわかるようにしていただくのは可能でしょうか。
1:01:20	入れます。
1:01:22	中国電力の方で承知いたしました。資料の方へ反映を検討いたします。以上です。
1:01:28	成長のヨシツグですはい。よろしくお願ひしますそれと、今 16 で、大物搬入高があるんですけど、
1:01:36	先ほどの当間通のハッチの開口部の面積は 77 ページの

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:01:42	5 の、
1:01:44	マスキングの中に切り換えてあるんですけど、
1:01:47	東映と大村実行の大きさは、これは表示できる表示することは可能でしょうか。
1:01:56	中部電力の中嶋です。教授の方が確認はいたしますけども、教授可能であれば、追記するよう検討いたします。以上です。
1:02:05	規制庁入室は、もしあれだったらマスキングでもいいので、開口部の大きさがどれぐらいかというのを明確にしていきたいと思います。
1:02:21	規制庁のヨシザキです後、78 ページのずーと
1:02:25	圧力の推移変更前変更後の、
1:02:29	拳動のグラフを追加してもらったんですけども、
1:02:33	マスキングだからあれか。
1:02:35	一旦空調止めて、正圧になって、
1:02:40	0に戻った後にSGTSを起動して、
1:02:45	目標値の 6、6 ミリ後かにしているグラフ。
1:02:52	と考えていいですか。
1:02:56	中部電力の中嶋です。こちら今、お示してるグラフについて定検中でHRの原子炉棟空調換気系が例えば点検するので大体空調として費用が集計を、
1:03:08	起動した時の、
1:03:11	このグラフを張りつけておまして、基本的にその時の操作の観点で0.2 戻るまでとかっていうことは、特には、
1:03:22	定めているものはなくてですね単純にその非常、
1:03:26	原子炉棟空調関係停止した後に、除去が問題なければ、
1:03:32	色刷りで起動するっていうところでその起動時間と、停止時間的と時間っていうのは今は少し
1:03:40	変更前後でその時の状況について差がありますけども、基本的に負圧達成までの時間というのは、変動がないと。
1:03:48	いうことを示してるものでございます。以上です。
1:03:53	規制庁のヨシツグです
1:03:55	了解しましたで、ちょっと変更後の小涼風がこれマスキングですと言いづらいたんですけど、タイミングが一少し変更前とずれてるんですけども、そ、そのサーについては説明できますか。
1:04:15	中国電力の中嶋ですタイミングというのは、起動。
1:04:20	停止の
1:04:21	タイミングということで、いう理解でよろしいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:24	規制庁の磯技師 0。
1:04:27	01 から生きるステージに見えるんですけど、起動してないのに 0 以下になるのかなとそう思ったんですけども、その辺の説明はいかがですか。
1:04:36	中国電力の中嶋です先ほど、もう少し説明しましたけども基本的に 0.2 戻ってからSGT起動とかっていう、そういう管理ではなくてですね、単純にその 1 バイアルを停止した。
1:04:48	あと一部やるも基本的に空転がありますのでそれで停止後、1 度、生活になりますけどもその後徐々に下がっていくという傾向が、
1:04:57	ありますけどもそのあとに
1:04:59	0. まで戻ってからSGTを切ろうっていう管理ではなくて単純にその
1:05:04	マウンテン、
1:05:05	Eの配置状況だったりその他も現場の状況もありますけども、そういった状況を加味してSGT起動。
1:05:12	をしておりますのでこのゼロ点に戻る戻らないという判断でSGT切ろう。
1:05:17	を行っているものではございません。以上です。
1:05:21	市長の井関佐野を何となくわかってきて、
1:05:26	何だ、空調止めた後に
1:05:29	正圧にもって、ゼロに戻るタイミングってのこれは、
1:05:34	何も動いてないと思ったんですけども、この間は空調が動いていると、そういうことでしょうか。
1:05:43	中国電力の中嶋です。原子炉と区長関係の停止後、その辺should空調関係の発足排風機が空転はしております。以上です。
1:05:59	規制庁のヨシツグ空転で、
1:06:02	西洋でモーター等負圧まで戻る。
1:06:06	そういうことでしょうか。
1:06:10	協議電力の長嶋です。また少し細かい話になりますけども、
1:06:16	原子炉と空調関係が停止した後に排気側の隔離弁が少し
1:06:21	次の再起動を考慮したインターロックで、多少絞り方向になるので一時的に制圧になるんですけどもその後系統切替等を行いますので、
1:06:32	爆風展示の廃棄と、
1:06:35	吸気の本から多少、
1:06:39	0.2 どんどん戻っていくというような傾向。
1:06:42	あのグラフ上見られているということですけど。
1:06:45	です。以上です。
1:06:49	規制庁の伊勢ですわかってきましたの。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:53	ダンパーの嘘さ、切り換えがあるから、その制正圧に一旦戻るけども、9 点がずっと続いていて、出たダンパーの切り換えというかその影響によって、
1:07:05	この圧力、STSが起動するまでの、
1:07:09	圧力の変化、
1:07:11	が、提供していると、そういう理解でよろしいですか。
1:07:20	三国ナカシマですご認識の通りです。以上です。
1:07:27	規制庁の吉井杉沢わかりました。
1:07:34	はい。私からは以上です。
1:07:39	他にございますでしょうか。
1:07:44	よろしいでしょうか。
1:07:46	規制庁側からはこれでコメントないんですが、中国電力の方から何かありますでしょうか。
1:07:57	中国電力の内藤です。こちらから特にございません。以上です。はい。
1:08:01	ではホワイトボードの確認入りたいと思いますので準備をお願いします。
1:08:15	少々お待ちください。
1:08:47	中国電カイタイガワですけども、画面の補強させていただきましたけども、
1:08:53	確認できますでしょうか。はい。見えてMaaS少々お待ちください。
1:09:21	線。
1:09:22	かいいの説明時間の時に一緒にそこをなす塗装説明の時期を示すこと。
1:09:29	同じような発言です。
1:09:37	すいませんなんか 5 番目は、第 6 回 9 月の施設の耐震計算書わかるように示すことで何かこれ。
1:09:44	言葉が足りてないと思うんですけど。
1:09:52	これは何なんでしたっけ。
1:09:56	中国電力の内藤です。
1:09:58	⑤の、
1:10:00	資料 2、
1:10:03	対し、取水槽の耐震計算書の洋一を追加して、
1:10:08	引き続きそのことがわかるような、
1:10:12	記載にするということだと思います。以上です。わかりましただからその④の資料と臨戸をちゃんとす機能の中の 1 課のやつですね。はい。
1:10:22	だから、
1:10:26	新スウェイ耐震庄野すまいかは、そうですねはい。
1:10:33	はい。
1:10:34	6 番が、現状での事務です。利用福西です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:40	新入職一旦してね、追加
1:10:44	多分、
1:10:47	これは、分類し、
1:10:49	あれですね現状の対応、対応の遅延及び新たに対応が必要な事項について分類した上で、理由をつけて示すことですよねなんか二つに分類しろっていうのが肝だったと思うんで、
1:11:06	中国電力のナイトウです承知いたしました。
1:11:10	現状、もともとの、
1:11:13	対応で遅延したものと改め、
1:11:17	追加対応で遅延したものが必要となったものについては、
1:11:22	分類した上で理由も含めて記載するというにしたいと思います。以上です。それで結構です。
1:11:30	7からがあれですね、今のやつですけど、これは、
1:11:34	ユレーション
1:11:36	これ中身も入ってるのかな。
1:11:38	エレベーション二階も入ってるという理解でいいですか。
1:11:42	確か 45 メートルとか、
1:11:45	何回かちょっとですね私が今変なこと言ったかもしれない。
1:12:00	中国電力の内藤です。
1:12:02	この図 6 に、差圧計のエレベーションとして、
1:12:07	設置階も含めて記載することにしたいと思います。以上です。はい、ありがとうございます。
1:12:14	そうですね。よかった数字は、
1:12:19	いいですかね。イトボードは、
1:12:22	はい。
1:12:27	はい。
1:12:28	ではこれで結構です。
1:12:32	ほかになれば、これで本日のヒアリングを終わりたいと思います。
1:12:38	ではお疲れ様です。
1:12:41	ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。